

【指定就労継続支援 A 型事業所 経営改善計画書】

事業所名称	グリーンハウス水島			代表者氏名	長谷川 理恵		
事業所所在地	岡山県倉敷市水島北緑町3番5号						
連絡先	電話番号	086-441-3555			FAX番号	086-446-2773	
職員数	8 定員	20 利用者数	(うち身体 知的 精神 その他)				
事業所の設置主体	社会福祉法人 ・ 民間企業 ・ NPO法人 ・ その他					設立年月日	平成25年2月4日
改善計画期間	令和5年4月1日 ~ 令和6年3月31日 (1年間)						

1 現在、指定基準規則第120条第2項（賃金及び工賃）を満たすことができていない理由と具体的改善策（詳細かつ具体的に記載すること）

(未達成理由) 請負作業を主としており、請負契約金額が人件費を賄えるを金額以下である。	(具体的改善策) 作業内容、人件費を踏まえた請負契約金額の見直し。施設外就労での生産性を上げ、生産性が向上するように就労意識を向上させる教育に注力する。利用者の気持ちを向上させられるような支援を行う為の事業所内の研修等、職員の指導法の見直し。また、利用者賃金向上を図るため、施設外就労の人数の増員を行う。
---	--

2 現在の事業内容及び改善計画期間を通じて実施する事業内容

現在の事業内容	改善計画期間を通じて実施する事業内容
施設外就労（部品加工・農福）・自動車部品加工・クリーニングタオルたたみ、検品・一般家庭、企業等草取り、清掃・アルミ製品作成・紙製品等の検品、封入	施設外就労（部品加工・農福）・自動車部品加工・一般家庭、企業等草取り、清掃・アルミ製品作成・紙製品等の検品、封入

(※) 事業内容には、生産活動の内容、対象顧客、市場動向、競合相手の動向、改善後の事業内容に主に従事する者の数や属性（どのような資格、経験等を持った者が担当するか等）について詳細に記載すること

3 現在の生産活動に係る事業の収入額及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する事業収入目標額（1年間の額を記載）

現在の収入額	改善計画期間を通じて達成すべき目標収入額
4,888,115円	7,015,360円
(主な費目) 施設外就労（部品加工・農福）・自動車部品加工・クリーニングタオルたたみ、検品・一般家庭、企業等草取り、清掃・アルミ製品作成・紙製品等の検品、封入	(積算根拠) 施設外就労（部品加工・農福）・自動車部品加工・一般家庭、企業等草取り、清掃・アルミ製品作成・紙製品等の検品、封入

(注) 目標収入額は、積算根拠に基づいた実現可能性のある数値であること。

4 現在の生産活動に伴う経費及び改善計画期間を通じて基準適合を達成する必要経費の見込額（1年間の経費を記載）

現在の経費	改善計画期間を通じて見込まれる経費
738,677円	564,000円
(主な費目) 光熱水費、燃料費、消耗品費	(積算根拠) 消耗什器備品費、消耗品費、修繕費、光熱水料費、燃料費、雑費

5 現在の生産活動に係る収益額及び改善計画期間（基準適合の目標期間）後の収益の見込額

現在の「収入－経費」	改善計画期間後の「収入－経費」
4,149,438円	6,451,360円

6 現在の利用者の総賃金額及び改善計画期間（基準適合の目標期間）後の利用者の総賃金額

現在の支払い総賃金額	改善計画期間後の支払い総賃金額
14,513,269円	16,741,056円
(積算根拠) 基本給 14,152,399 有休 360,870	(積算根拠) 17×4h×892×23日×12カ月 他(有休)

事業所代表者署名欄 長谷川 理恵（押印不要）

※「現在」はいずれも、指定基準条例第180条第2項を満たさないと判断された前年度1年間のものを記載すること。
※その他、社会福祉法人会計基準に基づく会計書類等、地方公共団体が必要と認める書類を添付させること。

経営改善計画期間中の具体的改善策と実施時期等

項目	課題	実施期間		具体的な改善策														
		令和5年	令和5年	1月	2月	3月	計	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計				
営業体制強化	成功できるかが課題			利用者の特徴を活かして生産活動が向上なるよう努めていく。施設外就労の増員 現在6~7名のところ、14名まで増員を計画する。														
単価の値上げ	継続により単価アップできるかが課題			請負先、顧客様に時給の作業へ転換の話し合いを行う。														
経費削減	どの位削減できるかが課題			請負先に作業で使用するもの（物品等）の相談。職員同士、備品の管理など徹底してもらう。賃賃を移転し（原直し）経費削減														

(注) 経営改善を行う項目(例：営業体制の強化、経費削減、販路拡大等)を記載するとともに、課題を記載し、その課題に対応するための実施期間と具体的な改善策をそれぞれ記載する。適宜欄は追加する。

(計画期間中の見込額)

項目	令和5年度												計	
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
収	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	7,015,360
益	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	584,613	7,015,360
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業取益	①													
就労支援事業活動収益計②	(=①)													
就労支援事業販売原価③	(=④+⑤+⑥-⑦)													
期首製品(商品)棚卸高④														
当期就労支援事業製造原価⑤														
当期就労支援事業仕入高⑥														
期末製品(商品)棚卸高⑦														
就労支援事業販管費⑧														
就労支援事業活動費用計⑨	(=③+⑧)													
就労支援事業活動増減差額⑩	(=②-⑨)													
支払い賃金総額⑪														
		1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	1,395,088	16,741,056

利用者への支払い賃金は費用に含めず、支払い賃金総額⑪へ記載すること。

(前年度実績)

項目	令和4年度												計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
収	221,403	271,753	309,804	272,611	373,998	389,834	638,387	375,985	461,505	424,232	591,577	557,026	4,888,115
益	221,403	271,753	309,804	272,611	373,998	389,834	638,387	375,985	461,505	424,232	591,577	557,026	4,888,115
費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
就労支援事業取益	①												
就労支援事業活動収益計②	(=①)												
就労支援事業販売原価③	(=④+⑤+⑥-⑦)												
期首製品(商品)棚卸高④													
当期就労支援事業製造原価⑤													
当期就労支援事業仕入高⑥													
期末製品(商品)棚卸高⑦													
就労支援事業販管費⑧													
就労支援事業活動費用計⑨	(=③+⑧)												
就労支援事業活動増減差額⑩	(=②-⑨)												
支払い賃金総額⑪													
		1,157,317	1,081,329	1,103,280	1,114,254	1,199,131	1,427,357	1,305,565	1,284,836	1,260,174	1,120,203	1,289,074	14,513,269

着色セルは自動計算されます。また、金額には3桁ごとにカンマが入り、マイナスの場合は先頭▲が付くよう設定しています。

経営改善計画書の積算根拠内訳書（利用者に係る人件費等を除く。）

【計画期間】令和5年4月1日～令和6年3月31日

※「確定値」＝契約済み単価、「見込値」＝契約単価見直し可能、実績に基づき見込み、「期待値」＝希望的数値を可能限り表示。

事業区別	事業収入・必要経費項目	現在の収入額及び経費	単価、個数、時間等の設定根拠
部品加工/ 施設外給労 (部品・農 福)	収入	売上高 3,559,855	販売単価＝現状維持(確定値) 販売個数＝実績(確定値)＋新規顧客増(期待値)
	必要 経費	消費什器備品費 消耗品費 修繕費 光熱水費 雑費 738,677	販売個数＝実績(確定値)＋新規顧客増(期待値) 単価＝実績(確定値)、配布個数＝(見込値) 単価＝現状維持(確定値) 単価＝現状維持(確定値)
	収入	売上高 1,328,260	販売単価＝納期短縮による単価増(見込値) 製造個数＝実績(確定値)＋作業能力向上(見込値)
	必要 経費	消費什器備品費 消耗品費 修繕費 光熱水費 雑費 記載省略	
タオルた み・草取り 他			